

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第124号	氏名	奥永 知宏
学位審査委員	主査	上谷雅孝 教授	印
	副査	森 望 教授	印
	副査	永安 武 教授	印
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、脳腫瘍において従来報告されてきた放射線耐性機序とは異なり、小胞体分子シャペロンに焦点を当て、新たなシグナル伝達制御機構の研究を進展させようとするものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 一般に放射線の影響は多数の要因が含まれ、その解析は複雑であるが、本研究では種々の角度より検討するようにデザインし、その実験結果を裏付け解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、小胞体分子シャペロンの発現バランスの変化を介したAktシグナルの制御という新たな分子機構の存在を明らかにし、今後の脳腫瘍の放射線感受性制御機構の研究進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は脳腫瘍の基礎研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと